

【研究ノート】

ワーク「お土産を買わなくちゃ」 —情報カードを使った、問題解決とチームワークのためのワーク—

Work on Problem Solving and Team Work Using Information Card.

吉田 あけみ
Akemi Yoshida

I はじめに

現代社会において、日々暮らしていくためには、常に情報を収集し、整理し、選択していくことが求められている。特にチームワークで行われる職場においてはそれらのスキルは大変重要である。社会福祉士をはじめとする社会福祉の専門職においては、医師や看護師をはじめとする医療スタッフ、事務スタッフと社会福祉の専門職などのチームワークによって問題を解決することが求められる。それらの学びは、現場実習やOJTによって鍛えられるものではあるが、クライアントを実験台にするわけにはいかない。ので手探り状態のまま、現場実習に出ることは大変危険である。よって、模擬的に問題解決の必要な状況をつくりあげ、体験的にチームワークやリーダーシップについて学ぶことは重要である。

そのために人間関係トレーニングを実施し、体験的な学習を試みてきた。これまで主に、Creative0.D. と Crwative Human Relations に掲載されている「実習」を活用してきた。しかし、回を重ねるに従い、社会背景とややそぐわない

ものがあったり、学生の側の変化もあったり、情報が古いものがあったりという問題が出てきた。さらに、活用するにあたって、実習の指示などがわかりにくいものもないではなく、これらの授業をより良いものにするための改善策として、本ワークを作成した。本研究ノートでは、著者が作成したこの「ワーク」を紹介するとともに、これを使用して実施した授業などにおける学生たちの反応などを記した実習ノートも合わせて記載する。

II ワーク「お土産を買わなくちゃ」

本ワークは、情報カード型の問題解決により、コミュニケーションの阻害要因に気づくことを目的としている。以下にワークの実施方法を記載する。

はじめに、受講生に対してこのワークのねらいを提示する。以下にそのねらいの例を示す。続いてグループサイズ、準備するもの、会場の注意、手順を記したのちに、配布用の指示書と課題シートと情報紙と振り返りを紹介する。

ねらいの例示

- ・情報の収集方法・整理方法を考える。
- ・仕事の手順化について考える。
- ・相互の影響、意思決定の方法、メンバーや自分の言動や気持ちの変化に注目する。
- ・ワーク中に感じた自分の気持ち、考え方などから自分自身の特徴に気づく。
- ・リーダーシップの効果的なあり方に気づく。
- ・一人では問題の解決はできず、チームワークが大切なことに気づく。

グループのサイズ

1 グループ 6名程度。グループ数はいくつでも構わないが、チューターなどがつかない場合には、5グループ前後が適当。

所要時間 120分程度

準備する物

- 1、指示書 各自に一枚
- 2、課題シート 各自に一枚
- 3、振り返り用紙 各自に一枚
- 4、情報カード 各グループに1セット

会場

グループワークができるように、移動可能な椅子と机のある部屋が望ましい。

手順

1、導入 指示書を配布し、ねらいと手順を説明する。

2、グループわけ 毎時間できるだけ新しいメンバー構成になるようにくじ引きなどの方法でグループわけする。

3、文房具等の配布 模造紙、マジックインク、メモ用紙を各グループに配布する。

4、課題の説明 課題シートを配布し、説明する。

5、情報カードの配布 情報カード1セット(36枚)を各グループに配布する。

6人の場合には、6つの情報が記載されている1-6の情報紙を配布

それ以外の人数の場合には、一つの情報を一つのカードに分解し、トランプゲームの要領で、裏向きにした情報カードを、メンバーにほぼ均等になるように配布する。

6、課題の実施

7、結果発表

8、振り返り用紙配布

9、グループにおけるわかちあい

10、全体でのわかちあい

11、ファシリテーターからの講評

指示書

ねらい

- ・情報の収集方法・整理方法を考える。
- ・仕事の手順化について考える。
- ・相互の影響、意思決定の方法、メンバーや自分の言動や気持ちの変化に注目する。
- ・ワーク中に感じた自分の気持ち、考え方などから自分自身の特徴に気づく。
- ・リーダーシップの効果的なあり方に気づく。
- ・一人では問題の解決はできず、チームワークが大切なことに気づく。

手順

- 1、導入
指示書を参照、ねらいと手順の説明
- 2、課題の実施
- 3、結果発表
- 4、振り返り用紙記入
- 5、グループにおけるわかちあい
- 6、全体でのわかちあい

グループへの指示

あなたたちの課題は、グループとしてある問題を解決することです。

そのための情報は、配布された情報カードの中にすべてあります。

各自が持っている情報は、口頭でのみ伝えあってください。

他の人のカードを見たり、自分のカードを他者にわたしたり、見せたりしてはいけません。

情報をそのまま書き出したり、皆が見えるような一覧表にはしないでください。図やポイントとなる言葉を手元のメモ用紙に書くことは構いません。

その用紙を他者に見せることはしないでください。

皆が納得の地図がそれぞれの手元の紙に完成したら、模造紙に、和実さんにわかるように大きく書いてください。

スタートの合図から 60 分で作業は終了します。

課題シート

ワーク「お土産を買わなくちゃ」

和実さんは、海外のリゾートにやってきました。お友達から、水族館の売店で売っているイルカの形をしたクッキーを買ってきてほしいといわれました。自由に行動できる時間は今日の午後しかなく、夕食はツアーですでに予約してあるので時間が限られています。

課題

夕食の予約は、75 分後です。現在地から水族館までは歩いて 10 分程度かかるといわれました。水族館からレストランまでは歩いて 5 分程かかるようです。したがって、60 分以内に、水族館までの地図を完成させてください。

ルール

- 1、与えられた情報カードは、口頭で伝えることはできますが、他のメンバーに見せたり、また、情報がみんなに見えるように模造紙などに大きく書き写すことはできません。自分の手元の紙にメモや図を描くことはかまいません。しかし、その手元の紙を他のメンバーに皆の地図が完成するまでは見せてはいけません。
- 2、皆が納得の地図がそれぞれの手元の紙に完成したら、模造紙に、和実さんにわかるように大きく書いてください。

情報紙 1

- 1 和実さんは今は、宿泊しているコンドミニアムのロビーにいます。
- 2、和実さんが泊まっているコンドミニアムの西側には公園が広がっています。

- 3、リゾートのメインストリートは、ビーチと平行して走っています。
- 4、和実さんが宿泊しているコンドミニアムの隣にはAホテルがあります。
- 5、公園の東側には、ホテルがあります。
- 6、メインストリートを、Sコンドミニウムから東に進むと、5キロ先にシーパークがあります。

情報紙2

- 1、水族館の前にはメインストリートを挟んで公園があります。
- 2、公園の西隣の動物園は、イケメンチンパンジーが人気です。
- 3、メインストリートの2本北側の道路は、運河に沿って走っています。
- 4、Aホテルの前には、メインストリートを挟んで、Tホテルがあります。
- 5、Tホテルの北隣には、有名なパンケーキ屋さんがあります。
- 6、Aホテルの隣にはショッピングセンターがあります。

情報紙3

- 1、ショッピングセンターの東隣には、この町を有名にした人の銅像がメインストリートの方を向いて、建っています。
- 2、銅像の前のメインストリートを東に向かうと、左手に教会が見えてきます。
- 3、教会の両隣には、Cストアがあります。
- 4、銅像の東側には、クッキー屋さんがあります。
- 5、Tホテルの東側には、クッキー屋さんがあります。
- 6、この街には、公園は二つあります。

情報紙4

- 1、この街には、沢山の宿泊施設と沢山のCストアと沢山のクッキー屋さんがあります。
- 2、教会の東隣のCストアの角を北に曲がると、次の交差点の北西の角にコンドミニウムがあります。
- 3、公園の前には、メインストリートを挟んでブランドバッグのお店があります。
- 4、和実さんが止まっているコンドミニウムからブランドバッグのお店はよく見えます。
- 5、クッキー屋さんでは、クジラ型のクッキーがよく売れます。
- 6、教会の前を東に進むと、左側に動物園があります。

情報紙5

- 1、和実さんの泊まっているコンドミニウムの北側をメインストリートが走っています。
- 2、和実さんの止まっているコンドミニウムはSコンドミニウムです。
- 3、Sコンドミニウムの部屋は、メインストリートに面している部屋とビーチに面している部屋と公園に面している部屋と隣のホテルに面している部屋の4種類です。
- 4、公園の西隣には、クッキー屋さんがあります。
- 5、水族館の2階の売店で、イルカ型のクッキーを売っています。
- 6、Cストアのある角の北東の角には、動物園があります。

情報紙6

- 1、動物園と水族館はすぐ近くなので、一日で両方訪れる人が多いです。

- 2、Cストアでは、イルカ型のチョコレートがよく売れます。
- 3、水族館を東に5分ほど歩いて行くと、右側にレストランがあります。
- 4、動物園からメインストリートを西に10分ほど歩いて行くと左側に公園があります。
- 5、メインストリートを銅像から東に5分ほど歩いて行くと、右側に水族館があります。
- 6、水族館の南側には、ビーチが広がっています。

振り返り

- 1、あなたは、このワークでどのくらい積極的に発言しましたか。
- 2、あなたは、このワークでどのくらい聴くことができましたか。
- 3、ワークの進行をすすめてくれたのは、誰のどのような言動ですか。
- 4、ワークの進行を妨げたのは、誰のどのような言動ですか。
- 5、今後、あなたはどのようなことに注意して、これらのワークに臨みたいですか。
- 6、あなたの集中力は、どのくらいつぎましたか。
- 7、あなたは、どのくらいこのワークを理解できましたか。

- 8、グループの雰囲気づくりに貢献したのは、誰のどのような言動ですか。

III 実習ノート

本ワークは、断片的な情報をつなぎ合わせて正解にたどり着くというものではあるが、むしろ関係のない情報に惑わされないようにということに重点が置かれているワークでもある。また、美容院がたくさんあるというようなヒントがちりばめられているので、それにいかに早く気づくかということも、正解への道のりを左右する。

これらの沢山の躓きに遭遇した際に、いかに気持ちをたてなおすのか、皆の気持ちを立て直すことにリーダーシップを発揮することができるのかということも問われているワークである。実際にワークを実施した際には、途中で気持ちがなえてしまって、作業を中断してしまったグループもあった。一方で、何度でもやり直すグループもあり、そのうちの一つのグループが解決し始めたころから、その様子に勇気づけられたのか、他のグループもたてなおしを図って最終的には、すべてのグループで解決に至ることができた。

今回の実習の成功は、前週の失敗経験によるところも大きいと思われる。前週に「歯医者予約に間に合わない」3)を実施したところ、どのチームも地図を完成させることができなかった。そこで、失敗体験のまま終わらせることはよろしくないと考え、連続して、同様の情報カードによる問題解決型ワークを実施したとこ

る、前週の振り返りを活かして、すべてのグループで時間内に地図を完成させることができた。

IV 終わりに

今までは、既存のワークを使用して、これらのトレーニングを実施してきたが、書きおろしてみたことにより、学生たちがどこでつまづきかもよくわかり、また、学生たちの苦手な分野などに特化したワークを作成することも可能であるので、できるだけ新たな教材づくりに取り組んでいきたいと思う。

参考文献

- 1) 『復刻版 Creative0. D.』 I～IV Press Time
柳原光 2003年
- 2) 『Creative Human Relations』 I～VIII Press Time
津村俊充 星野欣生 1996年

正解地図

